

電 力 情 報

NO. 86

平成24年2月28日

東 北 電 力 (株)

1 月 分 の 電 力 需 給 実 績 に つ い て

1. 電力需要について（表-1 参照）

1月分の販売電力量は、75億3,900万kWh、対前年比94.9%の実績となり、気温の低下による暖房需要の増加はあったものの、東日本大震災の影響や節電へのご協力などにより、11カ月連続で前年実績を下回りました。

用途別の実績については、以下のとおりです。

○特定規模需要以外の需要（自由化対象以外のお客さま）

電灯は、気温の低下による暖房需要の増加はあったものの、東日本大震災の影響や節電へのご協力などにより、対前年比98.7%の実績となりました。

特定規模需要以外の需要の合計では、対前年比99.1%の実績となりました。

○特定規模需要（自由化対象のお客さま）

業務用電力は、気温の低下による暖房需要の増加はあったものの、東日本大震災の影響や節電へのご協力などにより、対前年比93.3%の実績となりました。

特定規模需要の合計では、対前年比91.7%の実績となりました。

なお、産業用その他電力については、大口電力が大きなウエートを占めており、その概要は以下の参考のとおりです。

[参 考]

○大口電力

大口電力は、東日本大震災の影響などにより、対前年比89.1%の実績となり、11カ月連続で前年実績を下回りました。

2. 供給力について（表－2 参照）

1月の発受電電力量の合計は、82億8,000万kWh、対前年比92.5%の実績となり、東日本大震災の影響などにより、11カ月連続で前年実績を下回りました。

（自社水力）

出水率は70.0%の渇水となりました。

新潟・福島豪雨の影響により停止中の発電所があることや、前年との出水状況の違いなどから、発電量は前年を3億2,900万kWh下回る3億400万kWhとなりました。

（自社火力）

東日本大震災の影響により、停止した発電所の発電量を補うため、運転中の発電所が高稼働したことや、前年との運転状況の違いなどから、発電量は前年を5億300万kWh上回る54億8,500万kWhとなりました。

（自社原子力）

定期検査により、女川原子力発電所の全号機と東通原子力発電所1号機が運転を停止していることから、発電量はありませんでした。

（自社新エネルギー等）

地熱発電所の前年との運転状況の違いにより、発電量は前年を2,600万kWh上回る9,600万kWhとなりました。

（他社受電）

前年との運転状況の違いなどはありませんが、他社受電合計では、ほぼ前年並みの22億1,600万kWhとなりました。

以 上